

## 成績・運営ともに大成功

### 地元選手 少年演技競技で優勝！



一戸町教育委員会生涯学習課 西村 美香



写真右上：少年演技競技（右：山火ゆか選手、左：武田智摘選手）  
左上：少年演技競技表彰式（右：武田選手、左：山火選手）  
右下：若手「こくち」から、来年国体の愛媛「みきゃん」へバトンタッチ  
左下：公開演技で「リズムなぎなた」を披露する町内園児

いわて国体なぎなた競技会が成績・運営ともに素晴らしい形で終えることができたことは、ひとえに選手の日々の努力と、運営陣の大会成功にける熱い思い、そして大会に足を運び応援してくださった町内の皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

特に、一戸町出身の2選手が出場した少年演技競技で優勝を果たすことができたことは、今まで温かく彼女達を応援してくださった全ての方々に最高の恩返しのできたのではないかと思います。

大会期間中は、延べ800人の役員に従事していただきました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

来場者は毎日入場制限がかかるほど大盛況で、県外からのお客様はもろろんのこと、町内から大会を見に来てくださった方も多く、たくさんの方に全国トップ選手の技と気魄を見ていただいたことと思います。

一戸のなぎなたは、国体成功という大きな目的を果たすことができました。今後なぎなたが一戸町になくしてはならないものになるために、一戸から全国で活躍できる選手を輩出できるということを知っていただき、なぎなたを通して、これから町を担っていく子ども達が、町に自信と誇りをもって町づくりに貢献できる人材となるよう、育成していきたいと思えます。

#### あとがき

▼希望郷いわて国体、希望郷いわて大会が閉幕しました。今国体は東日本大震災からの東北復興の祈願も込められています。

▼岩手県選手の活躍は被災地に住む者として大きな誇りと感動を覚えずにはいられません。そしてわが町のなぎなた選手の素晴らしい躍進はどう表現すれば良いのでしょうか。

▼一戸町のなぎなたの選手の皆さんのご健闘は、町民に大きな自信と勇気を与えてくれました。

議会広報編集委員会  
委員 熊谷 一男



10月23日にもみじ交遊会周辺で行われた鳥越観音まつり。3月に閉校する鳥越小学校の全児童16人（もみじ太鼓クラブ）が勇ましい太鼓の音を響かせました。

#### 9月定例会

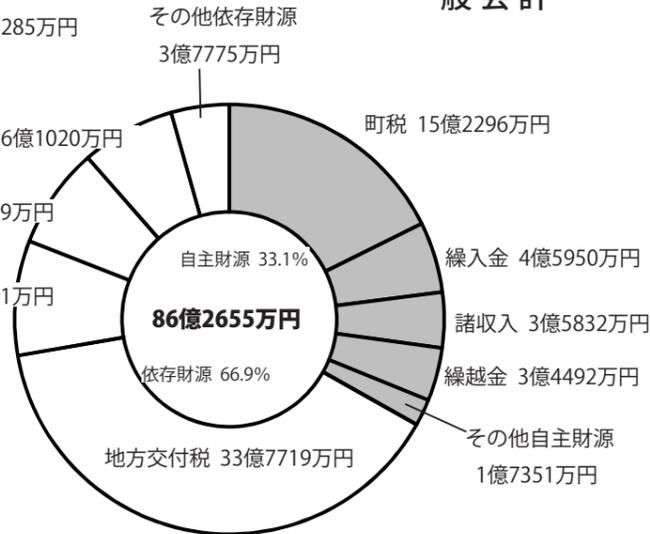
- 平成27年度決算を認定 ..... 2
- 決算審査特別委員会審議 ..... 4
- 町の未来を問う 一般質問6氏が登壇 ..... 10

発行責任者／一戸町議会議長  
編集／一戸町議会広報編集委員会  
〒028-5311 岩手県一戸町高善寺字大川24-9  
TEL (0195) 33-2111 FAX (0195) 33-4070  
E-mail: gikai@town.ichinohe.iwate.jp

# 平成27年度 各会計の決算状況

## 歳入

一般会計



## 歳出

一般会計



歳出の主な事業 (単位：万円)

事業名	金額
庁舎耐震補強・改修事業（文化センター含む）	2億345
町道整備事業	1億2943
公共土木施設災害復旧事業	9446

一般会計決算収支状況 (単位：万円)

区分	金額	摘要
歳入総額	86億2655	A
歳出総額	82億7153	B
歳入歳出差引額	3億5501	A-B
翌年度に繰り越すべき財源	9031	D
実質収支	2億6470	C-D
前年度実質収支	3億659	F
単年度収支	△4189	E-F
財政調整基金積立額	1億3086	H
繰上償還金	2億	I
財政調整基金取り崩し額	0	J
実質単年度収支	2億8897	G+H+I-J

端数処理の関係で計算が合わないところがあります。

特別会計決算 (単位：万円)

区分	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業勘定	19億7858	20億9744	(※4) △1億1886
土地取得	901	901	0
工業団地事業	858	858	0
農業集落排水処理事業	9085	9074	11
下水道事業	3億3957	3億3917	40
個別生活排水処理事業	4215	4138	77
後期高齢者医療	1億3838	1億3828	10

※4 歳入不足額は28年度の歳入から繰り上げて補てんしました。

### 主な財政指標の状況

区分	額・値
標準財政規模	52億5545万円
財政調整基金現在高	16億4583万円
減債基金現在高	2億7268万円
国保事業財政調整基金現在高	0万円
土地開発基金現在高	2億174万円
実質収支比率	5.0%
経常収支比率(※1)	88.5%
財政力指数	0.32
実質赤字比率	-%
連結赤字比率	-%
実質公債費比率(※2)	8.3%
将来負担比率(※3)	60.6%

水道事業会計決算（損益計算書） (単位：万円)

営業収益	2億7132	
営業費用		2億6182
営業利益		950
営業外収益	6361	
営業外費用		2711
経常利益		3650
特別損失		0
当年度純利益		4600



庁舎耐震工事により設置された鉄骨ブレース

■歳入・歳出とも減少  
平成27年度一般会計の歳入は前年度より4億6527万円減少し、歳出は前年度より4億7536万円減少しました。  
歳入歳出の差引額は、3億5501万円ですが、28年度への繰り越しなどを差し引いた実質収支は2億6470万円の黒字となりました。  
■自主財源が増加  
歳入は、自主財源が28億5921万円（総額の33.1%）で前年度より4008万円増加し、依存財源が57億6734万円（総額の66.9%）で前年度より5億535万円減少しました。これは、普通建設事業費および災害復旧事業費の減に伴い、国庫支出金などが減となったためです。  
一方歳出については、財政の硬直化を招くとされる義務的経費（人件・扶助・公債費）が32億1893万円の前年度より8898万円増加しましたが、公債費は2億円の繰上償還をし、次年度以降の義務的経費削減に努めました。

- ※1 経常収支比率 町税や普通交付税など毎年収納される一般財源が、人件費、扶助費、借入金の返済など毎年支出しなければならない予算にどのくらい振り向けられているかを表す指標です。この比率が高くなるほど、臨時的な経費に使う財源の余裕が少なくなり、財政運営が厳しくなります。
- ※2 実質公債費比率 町の借入金の返済などのうち、実質的な負担額の財政規模に対する割合を表す指標です。
- ※3 将来負担比率 町が出資している法人なども含め、将来町が支払わなければならない借入金の返済金や職員の退職金などの合計額から基金残高や普通交付税で補てんが約束されている額を除いた額の財政規模に対する割合を表す指標です。

9月定例会を9月8日から21日まで14日間の日程で開催し、報告4件、議案5件、認定9件、発議案2件が提出されました。平成27年度決算関連の認定9件は、議長を除く全議員で構成する決算審査特別委員会に付託し審査しました。審議の結果、すべて原案通り可決、認定しました。一般質問には6人の議員が登壇し、町政の各般にわたりたがいました。

# デマンド交通利用者 1日約90人

## 平成27年度決算審査特別委員会 質疑応答の主な内容

### 総務費 デマンド交通 利用状況は

**菅野** デマンド交通は戸口から戸口へのサービスでスタートしましたが、今はいかがですか。利用状況も伺います。

**答** 現在も戸口から戸口に運行しています。利用者数は減少していますが、27年度の1日平均利用者数は約90人です。

### 総務費 多額な不用額 発生理由は

**田中** 平成26年度予算の繰越分の不用額が多額になっています。また一部は全額が不用額となっていますが、その理由を伺います。

**答** この予算は平成27年3月末補正で計上した地域活性化地域住民生活等緊急支援助交付金を繰り越したもので



戸口から戸口へと移動してくれるデマンド交通は好評です

ですが、一部の事業が実施できなかったため、不用額が発生したものです。

**衛生費**  
「循環型社会形成推進地域計画」の概略と浸透方法は

**駒木** 二戸広域行政事務組合に提出されている「循環型社会形成推進地域計画」の概略と浸透方法は伺います。

**答** 二戸地区クリーンセンターのごみ焼却施設延命化事業を実施するため、国からの交付金を受けることを目的としたものであり、管内4市町村がごみの減量化・資源化に向けそれぞれが目標値を決めて取り組むための計画です。「広報いちのへ」などでお知らせしたいと考えています。



焼却施設延命計画中の二戸地区クリーンセンター

※ 今年、クリーンセンターで爆発事故が発生し、施設の一部が破損しました。原因は、家庭用カセットボンベをコンロに装着したまま、ごみとして出したからです。スプレー缶などは完全に使い切ってから穴をあけ、ごみとして出しましょう。

### 民生費 敬老会の開催 地区ごとでは

**上平** 町全体での敬老会も必要でしょうが、各地区の老人クラブなどに補助金を出して地区で行なえば、経費の節減にもなると思いますが、いかがでしょうか。

**答** 地区ごとに行くと日数もかかりますし、職員の対応も忙しく難しいと思います。各地区で試験的にやってみても良いと思います。

### 農林費 葉タバコ農家の 担い手対策は

**赤畑** 葉タバコ農家の後継者不足により、耕作放棄地が多くなっています。良い対策はありませんか。

**答** 県の補助事業を活用して設備導入にかかる費用を助成したり、廃プラスチックの処理費用の助成を行っています。

### 農林費 廃プラスチック 処理計画は

**熊谷** 廃プラスチックの処理計画の見通しを伺います。

**答** 廃プラスチックを熱分解して処理する技術が実用段階になってきているので、国の補助事業を使って実験的に導入する予定で計画を進めています。

### 農林費 排湯の活用 魚種変更は

**峠** バイオマス発電所の排湯活用としてウナギの養殖を計画していますが、稚魚の入手が困難な状況のようです。今後、魚種を変えて養殖する考えはありませんか。

**答** 様々な機関から、提案をいただいています。例えば、岩手大学からは「クエ」の養殖を提案していただきましたが、採算性の問題から難しいと思われます。また、ウナギの養殖に関しては、規制が厳しく、国の補助制度もありませんが、他の魚種の養殖については補助事業の活用も期待できることから、今後検討していきたいと考えています。

### 商工費 アドバイザーに 高校生の参加は

**柴田** 食品加工アドバイザーに、一戸高校生にも参加してもらい、新たな町の特産品を作る計画などはありませんか。

**答** 具体的には予定していませんが、郷土食の見直しという面からも、料理など、特産品の開発も含めて協力して取り組んでいきたいと考えています。

### 商工費 事業育成には 人材育成は

**土川** 第5次総合計画の、まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、「地域おこし協力隊」を募集し、意見などを取り入れてはいるかがですか。

### 教育費 根反の珪化木 町で公有化を

**中瀬** 土地の公有化を進めて、町文化財の朴館家や根反の大珪化木などの保存が図られる必要があると思いますが、計画はどこまで進んでいますか。

**答** 朴館家住宅については、敷地がすべて国指定の文化財となっていますので、国の補助金を使って公有化を進めているところであります。また、根反の大珪化木については、保存を図るうえで公有化が必要となった場合に検討したいと考えています。

### 水道事業 水道料未収金 営業用が増加

**上山** 水道料の未収金は営業用が増加しています。どのような対策をしていますか。

**答** 個別の事情に応じながら納付誓約書を取り交わしたり、夜間の訪問徴収なども行っています。



みんなが安心して飲める水道水を供給する一戸浄水場

※ 水道事業は定期的なインフラ整備が必要です。そのため、水道事業は健全な経営が求められます。

## 新たな雇用が生まれる 施策の実施を



山下 正勝 委員長  
決算審査特別委員会

# 町内消費喚起など諸施策を評価

平成27年度決算に対する意見・要望

本決算では、国や県の補助制度を活用し、役場庁舎および町民文化センターの耐震補強改修、また町有施設に太陽光発電設備を設置するなど、公共施設の長寿命化あるいは非常時の災害対策拠点維持のための整備や、プレミアム付き商品券、ふるさと旅行券および子育て支援商品券の発行など、町内消費の喚起に大きく寄与する事業が実施されたことを評価したい。

1万2912人となり、依然として人口の縮小傾向が続いている。27年度にはこの人口減少と、これを要因とする地域経済縮小に立ち向かうための「一戸町人口ビジョン・総合戦略」を策定しているが、この目標達成に向けた確実な事業の推進に努めていただきたい。具体的対策の一例として農業の振興を図ることが掲げられているが、一戸夢ファームの発展育成、加えて農業後継者の確保と育成を、財源を確保するなどし協力に努めていた

だきたい。  
また、木質バイオマス発電を介し、計画的な森林整備、排温水活用施設の整備による新たな雇用が生まれる施策にも取り組んでいたいただきたい。  
■生活基盤整備も継続して  
近年は自然災害が頻繁に発生し、復旧に莫大な経費と時間を要することを考えると、危険箇所の予防的工事には計画的に取り組むべきであり、同時に住民生活の利便性向上のためにも町道など生活基盤整備には継続して取り組んでいただきたい。

■収入未済の収納強化を  
町税・国民健康保険税など自主財源の累積収入未済の収納強化に努めていただきたい。  
■特別会計  
特別会計全般にわたっては、確実にその特別会計の設置目的の実

現が図られている点を評価するものであり、引き続き経費の合理化、効率化に努めていただきたい。  
■水道事業会計  
水道事業会計では27年度においても、前年度比710万円増の4599万円のほどの純利益を計上したところである。工業団地内に整備された木質バイオマス発電施設の稼働により増加する給水需要への対応を行うなど、安定した水道供給事業に取り組みられたことを高く評価する。今後は、計画的に施設の更新と修繕を行うよう要望する。加えて、水道料金未収金については、件数は減っているものの金額が増えていることから、未収金解消への対応を強く望むものである。



夢ファーム公開デーの様子



町民の所得向上と  
福祉向上を最優先に

菅野敦子議員

一般会計と国保、後期高齢者医療特別会計の決算に反対します。

### ■一般会計

歳入では税金をはじめ、老人ホーム入所費、保育料、学校給食費、町営住宅使用料などで滞納が見られます。個々の経済事情を考え相談に応じて納めていただくと同時に、何らかの施策を考

がほんの一次的な経済効果に過ぎず、真の意味での効果になっていないのではないかと考えています。町民の所得向上対策と福祉向上対策を真剣に考えるべきです。

の連携で住みよい町になるように期待するものです。  
■国保会計  
非常に厳しい運営を強いられ、

必要があると思います。また、滞納者に対する差し押さえが23件あったということです。生活に影響のない財産を選択して差し押さえるべきです。

町民所得支援と町商店街の活性化のため、プレミアム付き商品券の発行を行いました

て、一戸夢ファームに大いに期待するものですが、農家の所得保障と農産物の価格保障支援を行い、安心して農業ができれば若者も定着すると考えます。  
高齢者対策では、ひとり暮らしの高齢者は、何かあったら誰に相談すればいいのか悩んでいる人が多いと感じます。きめ細かに相談に応じ、行政や医療とのつながりを、地域

■後期高齢者医療会計  
高齢者には医療費をかけないようにする差別制度であり、制度そのものに反対します。

# 討論

## 将来に希望を持てる まちづくりに期待

上平 栄一郎 議員



### ■一般会計

前年度と比較し予算規模は5億円ほど減少したものの、総合計画後期基本計画と地方創生総合戦略の初年度として、着実に計画を実

現するための事業を施行したことが27年度決算の評価すべきところ  
です。  
緊急経済対策として国の支援策を活用したプレミアム付き商品券は、単に商品券を発行するだけではなく、新しい企画を提案するなど、商業・観光業者の側にも積極的に事業に参画するよう促して、消費喚起に相乗的な効果を発現させたことは大いに評価するものです。  
農業の振興においては、奥中山地区の県営畑地帯総合整備事業は全体計画の9割近くまで進行しており、鳥海地区ほ場整備事業も本格的に動き出し、全体の2割ほど進行しています。これらの事業は、農業の生産性の向上と規模拡大、経営の安定化に大きく寄与することから、農業基

盤整備における大きな前進であったと考えます。  
国は「地方創生元年」として地方に対し取り組みのスピードアップを促しています。これを受け、当町においても「人口ビジョン・総合戦略」が策定されたところで、明確になった目標のもと、困難な状況を克服し、将来に希望を持つて暮らし続けることができるまちづくりを期待しています。  
■各特別会計、水道会計  
独立採算が原則であり、一層の経費削減と事業の効率化に努力することを望みます。  
国保会計では、今年度も繰上充用しましたが、非常手段であり是正が必要です。下水道会計については、水洗化率の向上に対する取り組みを、さらに強化するよう要望します。

番号	件名	赤屋敷信一	柴田正三	峠勇男	赤畑一博	熊谷栄一郎	上平栄一郎	中瀬春英	田中辰也	山下正勝	川木悦郎	駒木二郎	川原野敦子	菅野敦子	野田博文	上村繁幸	田村繁幸	関連ページ
第1号	平成27年度一戸町一般会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	2~7
第2号	平成27年度一戸町国民健康保険事業勘定特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	●	○	○	○	2~7
第3号	平成27年度一戸町土地取得特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
第4号	平成27年度一戸町工業団地事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
第5号	平成27年度一戸町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
第6号	平成27年度一戸町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
第7号	平成27年度一戸町個別生活排水処理事業特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
第8号	平成27年度一戸町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
第9号	平成27年度一戸町水道事業会計決算の認定について	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	2~7
議案第1号	一戸町町税条例等の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
第2号	平成28年度一戸町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
第3号	平成28年度一戸町国民健康保険事業勘定特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
第4号	平成28年度一戸町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	8
第5号	平成28年度一戸町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	欠	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	8
請願第21号	来田保養センターの改修に対する請願	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	16
第22号	鳥越小学校が一戸小学校に統合することに伴う諸整備に関する請願	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	16
第23号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願について	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	16
発議案第1号	政府に年金積立金の運用失敗の責任を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	16
第2号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	16

表の見方: 「○」は賛成、「●」は反対、「欠」は欠席、「-」は採決に加わらなかったことを表します。田村議長は賛否が同数などの場合にのみ採決に参加します。これ以外は採決に参加しません。

次ページからは

# 一般質問

一般質問は、行財政全般にわたり疑問点をただし、町の所信を求めるもので、定例会で行ないます。

質問は、議員と町長が対面し、一つの質問をして一つの回答を得る「一問一答方式」です。

1人50分の制限時間内で質疑を繰り返します。

## 通告者

- 上平栄一郎 議員
- 駒木二郎 議員
- 峠勇男 議員
- 菅野敦子 議員
- 柴田正三 議員
- 田中辰也 議員

# 第二公設クリニック建設へ

## 一般議案審議

一般議案1件、補正予算4件は、全会一致で原案のとおり可決されました。



第一公設クリニック北隣に眼科が整備されます

条例改正  
法人町民税率  
引き下げなど

◆町税条例の一部改正  
法人町民税の税率の引き下げ、軽自動車税の環境性能割の創設、軽自動車税グリーン化の特例の1年間延長その他所要の整備をするもの。  
全会一致で可決

報告  
経営状況報告ほか

◆経営状況報告  
奥中山高原農協乳業(株)結愛サービス公社  
実質公債費率 8・3  
健全化判断比率報告  
将来負担比率 60・6  
(前年 9・3)  
(前年 65・0)  
◆資金不足比率報告  
いずれの特別会計も資金不足なし

## 質疑応答

問 電気自動車電源設置場所は

電気自動車対応電源工事費が計上されていますが、設置場所をお知らせください。

答 PHV(プラグインハイブリッド)車を購入するため設置するもので、奥中山支所に設置します。

問 子育て支援住宅の建設場所は

子育て支援住宅の建設場所をお知らせください。

答 建設場所は、一戸中学校プール北側に2棟4世帯分、奥中山西田子地内の町営奥中山第2住宅の東側

## 補正予算(主な内容)

一般会計(第3号)	7730万円増
臨時福祉給付金給付事業	2637万円
第二公設クリニック基本・実施設計業務委託料	1883万円
子育て支援住宅新築事業	1475万円
一般会計(第4号)	6700万円増
農業用施設等災害復旧工事測量設計委託料	1000万円
公共土木施設災害復旧工事測量設計委託料	2000万円
国民健康保険事業勘定(第3号)	16万円増
県単医療システム改修委託料	
下水道事業(第1号)	360万円増
公共下水道施設整備工事費	

問 学校司書の配置について

臨時学校司書賃金が計上されていますが、配置校をお知らせください。

に1棟2世帯分を予定しています。

答 モデルケース的に1日3時間程度、一戸小学校に配置する予定です。



上平 栄一郎 議員

# 上野線の完成予定は

## 農道整備

### 早期完成に向けて要望継続

**質問** 農業農村整備事業として、県では平成4年度から農道上野線の整備をしてきましたが、未だに完成していません。完成はいつ頃になるのか、伺います。

**町長** 農免農道上野線については、平成4年度に事業着手されてから、これまでで約2.8キロメートルが施工され、残り区間は約2キロメートルです。

は、国が50%、県が50%ですが、昨今国の予算充当額が低いことから、これまで敷砂利舗装として道路の延長を優先してきたのとことです。



完成が待たれる農免農道上野線

当該事業の費用負担

終了予定年度は平成30年度です。ただし、計画どおりに完成するかどうか不透明な状況ですので、今後についても、これまでにやってきた県や国に対しての予算増額の要望活動を継続しながら、用地などについて住民の協力が得られ、円滑に工事が進むよう県と連携していきたいと考えています。

## 排熱利用

# ウナギ養殖の進捗状況は

## 実現は非常に困難な状況

**質問** 木質バイオマス発電の排熱を利用した内水面漁業への取り組みとして、ウナギの養殖を計画してきましたが、これまでの進捗状況を伺います。

**町長** 養鰻事業は農林水産大臣の許可制となつていますが、既に事業を開始している既設事業者から、設備と一緒に養殖の枠を振り分けていただけるとの話があり、町の新たな特産品開発や雇用の受け皿としても期待でき



バイオマス発電所の排熱利用について再検討

ることから、予算計上しました。しかしながらその後、既存の養殖枠についても水産庁の精査が行われ、養殖枠があっても使っていない量については制限されるので、養殖枠を活用できないことになりました。その後も養殖事業実現に向け、主に九州地方の事業者と協議を行いました。成約には至らず、実現は非常に困難な状況となっております。

# 新たな公設クリニックの概要は

## 来秋に手術可能な眼科の開院を予定



駒木 二郎 議員

## 医療確保

**質問** 第二公設クリニックの概要と、町外の病院などへの通院にあたり、デマンド交通エリアの拡大など支援策について伺います。

**町長** 第二公設クリニックは、現在の小児科の北隣接地に整備します。診療科目は眼科で、「森眼科クリニック」(盛岡市)の分院として開業します。診療内容としては、一般診療のほか白内障などの手術も行うことと



第二公設クリニック建設予定地

整備事業費は、約2億2千万円を見込んでおり、平成29年秋の開業を目標に整備を行います。

町外への通院患者の交通便利については、これまでもデマンド交通の域外運行を検討してきました。しかし、町外の運輸事業者の理解を得ることができず、実現しておりません。今後アンケートなどで通院実態やニーズを把握し、県医療局に対し、患者輸送バスの運行を要望します。

## 林業振興

# 小規模森林所有者の支援は 施業の集約や経営計画を支援

**質問** 「特定間伐等推進計画」の概要と、これが小規模森林所有者にとつて、どのような利点があるのか伺います。

**町長** お尋ねの概要ですが、県が定めた「特定間伐等の実施の促進に関する基本方針」に即し、間伐・造林・作業路網の整備などについて定めるものです。

へ提案し、計画に搭載できるものです。この間伐などは、面積規模要件などが必要な「森林経営計画」を作成した場合と同様の、補助事業の助成を受けることができるなど優遇措置があります。

当町の森林所有者の大半が小規模であり、計画的・効率的森林施業を進めるため、今後は施業の集約化や、「森林経営計画」の作成を支援し、生産性の高い森林経営を図る必要があります。



生産性の高い森林経営を図る必要があります

この計画は、小規模な森林所有者などが実施したい間伐などを町



峠 勇男 議員

### 街路灯整備

## LED化への支援促進は 個々の事案を検討したうえで

**質問** 街路灯の照明器具を替える際に、設置から25年を経過しないと再度工事費の助成を受けられないとされていますが、規程を改正するか、特認条項を適用させて、希望する

ものには助成を行うことにするお考えはありませんか。

**町長** 街路灯を新たに設置する場合や、照明器具を消費電力の少ないLED（発光ダイオード）などに付け替える事業費の補助を行う場合は、街路灯整備事業費補助金交付要綱に沿って行っています。

一度にたくさんの方から要望された場合、すべてに早急に対応することは困難ですが、助成を求めている地域の街路灯が設置されてから経過した年次や状況（更新のための緊急性などを勘案）により、所定の年限など、この要綱の内容を大きく変更するまでもなく、具体的なケースごとに判断したうえで柔軟に対応したいと考えています。



地区の状況に応じ、柔軟に対応します

地域から要望された場合、すべてに早急に対応することは困難ですが、助成を求めている地域の街路灯が設置されてから経過した年次や状況（更新のための緊急性などを勘案）により、所定の年限など、この要綱の内容を大きく変更するまでもなく、具体的なケースごとに判断したうえで柔軟に対応したいと考えています。

## 読書を推奨する取り組みは 大活字本や移動図書館サービスで

### 高齢者福祉

**質問** 高齢者に読書を推奨する取り組みのなかで、視力が弱っても文字を拡大して読める電子図書館の貸し出しなどを検討してみたいと考えていますか。

**教育長** 視力が弱くても読めるようにするための、大画面の電子書籍の貸し出しについても検討してきまりましたが、電子書籍の数が少ないことと、要望が多い新刊図書も図書館向けの提供に時間が

かかっていることが大きな課題となっています。大きめの活字を希望する方のために大活字本を104冊所蔵しているほかにリクエストにも応じています。来館が困難な高齢者の皆さんのために希望する本を移動図書館車により配本するサービスも行っていますので、気軽に利用いただきたいと思っています。



図書館特設コーナー（上）と大活字本（下）

## 台風10号による被害状況は

### 浸水被害、停電が発生



菅野敦子 議員

### 豪雨災害

**質問** 8月30日の台風10号による災害発生状況と町の対応について伺います。

**町長** 台風10号による被害について、床上浸水が非住家1棟、床下浸水が住家5棟、非住家1棟となっております。特に姉帯地区の馬淵川沿いの低い土地の建物に浸水被害が発生しました。



浸水被害の様子（姉帯地区）

電が発生しましたが翌日の31日には全て解消されました。

**町民文化センター**など町の指定した避難所に避難された方は、7つの避難所に合わせて34世帯60人でした。避難した方々は、馬淵川沿いの低い土地に住んでいる方が多く、浸水の恐れがなくても、ひとり暮らしで不安という理由で親戚などに避難された方もあります。食事などについて

### 学校給食

## 無料化への取り組みは

### 就学困難者への支援は既に実施

は、あらかじめ自分で準備された方もありません。

**質問** 学校給食は食育としての重要性を考えた場合、国の責任で無償化すべきですが、独自に自治体として国に先行する形で取り組んでみる考えはありませんか。

したが、町では非常食（アルファーマ）を用意しました。

にぎり、飲み物などを

ほど低くなっていますので、決して高額の負担をお願いしているとは考えていません。子どもの貧困の観点から給食の助成について考えた場合、経済的に就学困難な児童生徒

に対して就学援助を行っており、学用品などのほか給食費も全額支給していますので、この点については既に手当てさせていただいていると捉えています。

### 教育長

学校給食に所要の経費のなかで、施設や設備、職員の人員費などは町で負担し、食材費のみを保護者に負担していただいています。

給食費の平均月額額は、文部科学省の調査の結果と比較してみても、小学校で12.4%、中学校で15.3%



安全安心な給食を提供している食育センター

このほかに「介護保険制度改定について」も質問しました。



柴田正三 議員

# 復旧・維持管理計画は

## 町 道 災害対象外は町単独で復旧

どの復旧計画や維持管理の計画を伺います。

町長 被災を受けた公共施設については、

国へ災害申請をして復旧しているところですが、現地査定の結果、被害程度が小さいため災害と認定されない箇所もあります。

災害対象にならない箇所や、申請で認められない箇所でも緊急に手当てが必要などところは町単独費で順次復旧している箇所もありますので、見落としていない箇所などは連絡いただいて、現地を確認のうえで対応したいと考えています。



計画的な復旧が求められています

## 案内板などの整備計画は文化遺産活用基本計画に基づき整備

### 観光地

質問 町内には国、県指定の文化財が多くありますが、「旧朴館家住宅」や「根反の大珪化木」などは、アクセス道路や案内板などの整備が不十分と考えます。今後の整備計画を伺います。

教育長 町内には、まだ観光資源となる多くの遺産があります。その活用が今後の課題



誘導標識や道路標識を再検討

と考え、平成25年に「一戸町文化遺産活用基本計画」を策定しました。そのなかで誘導計画として、誘導標識や道路標識、さらには駐車場整備などについて検討しています。今後この計画を基本として町全体の観光として生かせるよう具体的に検討していきます。

# 避難情報の意味を徹底しては

## 各機関を通じ、正しい意味を周知



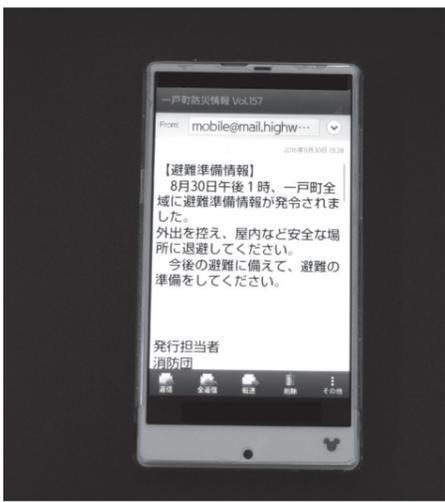
田中辰也 議員

### 防災対策

質問 災害時に発令される「避難準備情報」などを町民が十分に理解しておらず、防災情報が正しく伝わっていないようですが、対策を伺います。

町長 気象警報などが発令され、災害が発生の恐れがあると判断した場合、その緊急性に応じて、避難勧告や指示を出しています。

「避難準備情報」は、高齢者など避難の準備に時間がかかる人に早めの避難を促すもので



避難情報の意味の周知が必要です

「避難勧告」は、災害による被害が予想され、人的被害が発生する危険性が高まった際に出されます。「避難指示」は、状況悪化により人的被害発生が非常に高まった際に出され、勧告より強制力が強いものです。

今後は、自主防災組織、町内会、広報などを通じ、「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」の正しい意味や取るべき行動を理解してもらえよう、周知に努めます。

### 学習指導要領

## 新要領の理念実現のためには

## 地域に開かれた学校づくり推進

質問 次期学習指導要領の改訂に向けて検討が行われています。理念実現のために、町の将来を担う小中学生の教育にどのように取り組めますか。

教育長 文部科学省は、8月1日に「次期学習指導要領等」に向けたこれまでの審議のまとめ（案）を示し、

その中で重点として「よりよい学校教育を通してよりよい社会を創る」という目標を学校と社会が共有し、連携・協力しながら、新しい時代に求められる資質・能力を子どもたちに育む「社会に開かれた教育課程」の実現

が掲げられています。

当町の各学校においては、すでにある程度の連携が図られています。また、「独自の特色」をより一層引き出し、効果的に取り入れて行くことが、学校教育の充実につながると考えます。

新たな視点を取り入れ、深い教材研究のもと、不断の授業改善より学習過程を充実させること、教職員が協働的に関わり、組織力を高めること、地域との連携を深め、開かれた学校づくりを進めること、理念実現になると考えます。



地域に開かれた学校づくりを進めます (写真：昨年度の一戸小と老人クラブの交流会)

# 請願・意見書

今期定例会には請願3件が提出され、委員会審査の後、本会議で採択(一部採択)されました。また議員発議された意見書2件は、ともに可決され関係機関に提出されました。

## 請願審査

◎来田保養センターの改修に対する請願(総務教育民生常任委員会)

### ▼審査内容

昭和50年に開業後、ボイラーなどの一部修繕は行われておりますが、老朽化もあり、利用者などが不便を感じているものと思われま

す。また、今期定例会に耐震診断委託料の補正予算が提出され可決さ



改修の請願が採択された来田保養センター

### (※)一部採択

請願の内容が数項目にわたる場合、その一部について採択し、他を不採択にすること。

れたことから、耐震診断後耐震工事を行う際は、併せて改修を進めるべきと判断し、「採択」としたものです。

◎鳥越小学校が一戸小学校に統合することに伴う諸整備に関する請願(総務教育民生常任委員会)

### ▼審査内容

地域の核となる学校がなくなることは非常に残念ですが、将来を担う子ども達のために、地域およびPTA

## 意見書

○少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める意見書

### ▼要望内容

1. 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、O E C D諸国並みの豊かな教育環境を整備するため、30人以下とする。  
2. 教育の機会均等と水準の維持向上を図るため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに、国負担割合を2分の1に還元すること。

◎少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度拡充を求める請願(総務教育民生常任委員会)

### ▼審査内容

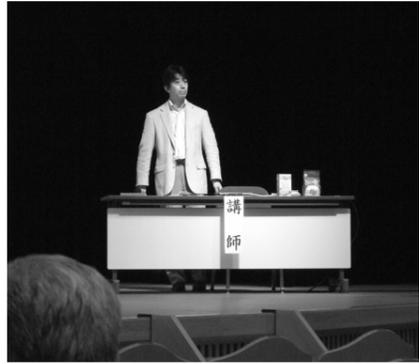
○政府に年金積立金の運用失敗の責任を求め意見書  
▼要望内容 年金積立金を運用により減少させた、年金積立金管理運用独立行政法人理事長と、厚生労働大臣は責任を取ること。

## 近隣町村議会との研修会 共通する地域課題解決に向けて

7月25日に洋野町において北部地区町村議会議長会研修会が、また同29日には二戸市において、カシオペア連邦議会議員協議会総会が開催されました。

### 農業経営力を上げ環境変化へ対応を

北部地区町村議会議長会は九戸郡内4町村と当町で構成されます。今回の研修会では、岩手大学農学部准教授の木下幸雄氏を講師に



講師の木下幸雄氏

迎え「岩手県の農業はTPPにどう対応すべきか」と題して講演が行われました。

講演では、過去の牛肉やリンゴの自由化の例を挙げ、差別化と経営力向上で、農業は進化すると訴えました。

### 北部地区町村議会議長会 カシオペア連邦議会議員協議会



写真下：講師の遠藤正弘氏

### 北いわてを アパレルの聖地へ

カシオペア連邦議会議員協議会は、二戸広域4市町村で構成されます。総会後には、(一社)北いわてアパレル産業振興会理事の遠藤正弘氏を講師に「北いわてはアパレルの聖地だ」と題した講演が行われました。遠藤氏は、当町の日本ソーイング(株)岩手工場で、東北

事業部長を務めています。二戸・久慈地区のアパレル産業の振興のため、独自のブランド服の製作、学生のデザインコンテストやファッションショーの開催を行うことにより、北いわてのアパレル産業の優位性をアピールするとともに、将来に向けて産業の裾野を広げていると話されました。

### 加工食品で 地域振興を

10月14日に、当町の奥中山高原において、カシオペア連邦議会議員協議会研修会が行われました。

研修会では、(株)パイロットフィッシュ商品開発コーディネーターの五日市知香氏を講師に迎え「小さな力の商品開発」お客様に選んでいただくためにと

### 定数・報酬 改正を検討

#### 全員協議会

当町の人口も他を見るまでもなく、減少をしております。また来年12月には任期満了を迎えることから、全員協議会を開催し議会議員定数及び議員報酬について検討を行いました。全員協議会開催に先立ち、定数および報酬

と題して講演が行われました。講演では、商品開発のポイントとして、どの年代や性別に向けて開発するかをきちんと設定することが大事で、パッケージデザインについてもその商品の魅力を一瞬で伝えられるように工夫し、さらに地名を入れることにより、地名のブランド化にもなると話していました。

に関するアンケート調査を行いました。議員定数に関しては、人口減少や近隣市町村の動向を踏まえ、2名減の14名が適当との意見が多数を占めました。報酬に関しては、意見が分かれました。今後とも検討を重ね、今年度中には新たな体制を決定します。

### 議会傍聴・議会中継をご利用ください

12月定例会は12月上旬開会予定です。会期が決定後、一戸町のホームページなどでお知らせいたします。議会傍聴と町ホームページでの議会中継のライブとオンデマンドをぜひご利用ください。  
<http://www.town.ichinohe.iwate.jp/> **議会中継をクリック!**



町ホームページのトップページ右下

# 定住対策と新しい林業への取り組み

おおなん にしあわくら  
島根県邑南町・岡山県西粟倉村



報告者  
中瀬春英 議員

7月19日から22日の日程で、島根県邑南町と岡山県西粟倉村を視察研修しました。

## 日本一の子育て村

島根県邑南町

島根県邑南町は、人口1万1300人あまりで、高齢化率42・5%、町の86%が山林となっており、平成16年10月に3町村が合併してできた町です。合併当時は、人口が1万2944人だったものが、平成22年の国勢調査で1万1959人となり、危機感を抱いた町では平成23年に「攻めと守りの定住プロジェクト」として「A級グルメ構想」「日本一の子育て村構想」「徹底した移住者ケア」を

実施しました。

「日本一の子育て村構想」では、「中学校卒業まで子どもの医療費無料化」「第2子から保育料無料化」を実施し、さらに町内にある公立邑智病院の産婦人科と小児科機能を充実させ、救急は24時間365日受付としました。また、「医療福祉従事者確保奨学金制度」「農林業後継者育成奨学金制度」など奨学金を充実させ、さらに、町内唯一の高校である県立矢上高校存続のため、寮費・通学費の助成や、補習授業として一流予備校講師や

現役東大生からオンラインで授業を受講できる環境も整えてありました。

移住者の住宅対策として、Uターンイターナー専用の住宅の建設や、空家改修補助事業を行っています。

こうした施策の結果、平成26年度の邑南町の合計特殊出生率は2・07となったということです。当町にも取り入れられる施策があれば、積極的に支援していきたいと思いをしました。

## 百年の森林構想

岡山県西粟倉村

岡山県西粟倉村は、人口1500人あまりで、高齢化率35%、村の95%が山林という村です。村に入るとの第一印象は、ほとんどの山がきれいに手入れされているな、という印

象でした。

この「百年の森林構想」は、平成20年に着想したもので、戦後に植えた木の管理を諦めず、村ぐるみで協力し、美しい百年の森林に囲まれた上質な田舎を実現し、さらにその森林から産業・仕事を生み出していかう、そして経済的にも自立した村を目指そうという考えだそうです。

集約化により低コストで効率的な森林整備

を実現するため、村が個人から森林を預かり、管理を森林組合に委託する、という形をとっています。個人負担はなく、所有している森林から木材を販売した場合、収益は村と個人で折半します。事業開始以降累計で1347畝、691人と契約したとのことでした。



写真上：邑南町での視察の様子  
下：きれいに整備されている西粟倉村の森林

## 産業建設常任委員会所管事務調査

# トマトのブランド化などを調査

報告者 中瀬春英 委員

一戸町のトマト栽培農家が増加傾向にあり、行政も一戸夢ファーム事業で新規就農者の養成に力を入れています。今後、一戸町のトマト栽培農家を導いていく手掛かりにしたいと思い、9月1日と

7月下旬から10月下旬までのおよそ3カ月間に年商9億円以上という当地は、今や若者や中高年の新規就農者がインターン・Uターンをしてくることで人口も増加傾向にあると

島根県南会津町の「南郷

トマト」で全国にブランドを確立している現地を視察しました。

平成26年には日本農業大賞を受賞し、栽培農家の誇りと自信に繋がっているように見受けられました。

中でも特に注目するのは、雪を利用した「雪室予冷」というものです。冬の間に選果場の一角に雪を600トンほど投入し、その冷気を使用してトマトを冷やし鮮度を保ち、中央市場へ送るということでした。電気料金の大



大変好評な南郷トマトジュース

幅な節約になっているとのことで、雪の多い当町にも参考にしてみたいと思いました。

また規格外のトマトを使ってトマトジュースなどの6次産業化を図っており、その容器がユニークで、詰め替え用のシャンプーのような入れ物でした。値段も缶ジュースより高い設定でしたが人気が高く、お土産として地方発送されていました。

# 2市町議会の行政視察を受け入れ

当町では、7月27日に静岡県伊豆市議会第1委員会（委員7人）、8月9日に青森県外ヶ浜町議会総務文教常任委員会（委員6人）の行政視察を受け入れました。

伊豆市議会は「デマンド交通『いくべ号』」について、外ヶ浜町議

会は「医師不足解消のための留学生支援」「公設クリニック」「御所野縄文遺跡」について研修を行いました。各委員とも、担当職員の説明を聞き、現地を視察するなど精力的に研修を行っていました。



デマンド交通事務所を視察する伊豆市議会の皆さん